

Yokoo in Wonderland

横尾忠則の不思議の国

2023年9月16日(土) ~12月24日(日)

■開館時間

10:00~18:00

※入場は17:30まで

■休館日

月曜日

※ただし9月18日(月・祝)、10月9日(月・祝)は
開館、9月19日(火)、10月10日(火)休館

■会場

横尾忠則現代美術館



ポスターデザイン:横尾忠則

展覧会について

本展は、横尾作品のなかの「不思議」に焦点をあて、現実の延長にあるもうひとつの世界をルイス・キャロル作『不思議の国のアリス』及び『鏡の国のアリス』になぞらえて紹介する展覧会です。

第1章「不思議の国」では、地底や海中、宇宙を舞台にした作品、第2章では「鏡の国」と題して鏡を使用した作品やミラーイメージを用いた作品が、観る者を異世界へと誘います。第3章「夢の国」では、横尾が見た夢をもとに描いた《夢枕》全43点を一堂に展示します。

横尾忠則が希求し、創り出した「不思議の国」を、1970年代から1990年代を中心とした絵画、版画、ポスター、テクナレーション等、約150点もの作品から探ります。



横尾さんの作品を見つめていると、いつのまにか異空間に迷い込んでいることはないでしょうか？

『不思議の国のアリス』のアリスの冒険がウサギ穴から始まるように、本展の第1章「不思議の国」は、少女が穴から飛びおる(?) 場面から始まります。

その先には若き日の横尾さんが関心を寄せた地底の王国アガルタがあり、少年時代の横尾さんが夢中になった探検小説の洞窟があり、愛読したジュール・ヴェルヌの海中世界が広がります。さらに、宇宙では異星人と出会ったり、死の向こうにある「ぶるうらんど」を覗き見たりと、異界での冒険は続きます。



《脈絡》
1987年
194.0×194.0cm
油彩、造花・布
兵庫県立美術館蔵



《地球の果てまでつれてって》
1994年
182.1×227.9cm
アクリル・布
作家蔵 (横尾忠則現代美術館寄託)



《Red Wonderland》
1973年
206.0×292.0cm
シルクスクリーン・紙
横尾忠則現代美術館蔵

Yokoo Tadanori Museum of Contemporary Art

Y+T MOCA

横尾忠則現代美術館

第2章 鏡の国



第2章「鏡の国」では、鏡の向こう側へご案内します。
本展のポスターに登場するアリスは、ジョン・テニエルの挿絵を横尾さんが日記帳に模写したもの。(実はそのページ[1985年の日記帳の扉]がそのまま使われています)

横尾さんがアリスを描く理由は「自分の中の狂気を対象化」するためなのだそうです。

鏡の破片のコラージュや鏡文字を多用し、実像と虚像が入り乱れる狂気の世界が展開する第2章は、1980年代後半の作品を中心に構成されています。



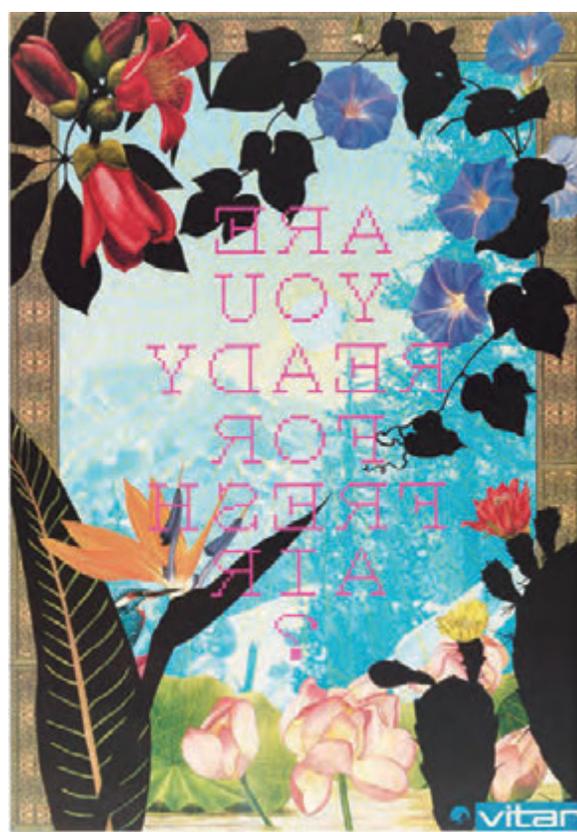
《Art is not Produced by Suffering》

1985年

258.6×194.3cm

アクリル、油彩、人形、筆・布

横尾忠則現代美術館蔵



《Are You Ready for Fresh Air? (Vitar)》

1989年

103.0×72.8cm

オフセット・紙

横尾忠則現代美術館蔵

Yokoo Tadanori Museum of
Contemporary Art

Y+T MOCA

横尾忠則現代美術館



第3章は「夢の国」。

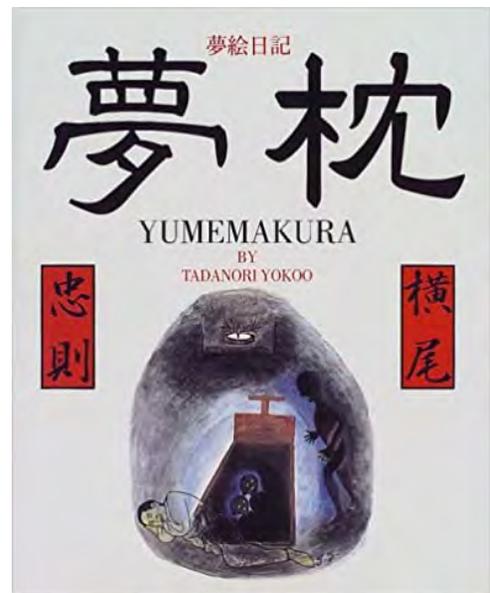
アリスの「不思議の国」での冒険は夢の中での出来事でした。横尾さんもまた不思議な夢を見る達人として知られており、半世紀以上にわたって夢日記を綴っています。

その夢の記録は、現実と非現実が融合したシュルレアリスム的世界を醸し出し、ヨコオワールドの源泉にもなっています。

《夢枕》は、1998年に出版された『夢枕—夢絵日記』の原画です。本展では、42編の絵日記と表紙のための原画全43点を一堂に展示します。



《夢枕 二十六》
1998年
45.1×37.9cm
水彩・紙
作家蔵（横尾忠則現代美術館寄託）



※参考図版
横尾忠則『夢枕—夢絵日記』
日本放送出版協会、1998年

※p.2およびp.4の左上の画像は、ジョン・テニエルによる『不思議の国のアリス』の挿絵、

p.3の左上の画像は同『鏡の国のアリス』の挿絵を引用しています

Yokoo Tadanori Museum of Contemporary Art

Y+T MOCA

横尾忠則現代美術館

関連イベント

ギャラリーツアー

■担当学芸員と会場を巡りながら作品を鑑賞します

講師 当館学芸員
日時 10月7日(土)、11月18日(土)、12月16日(土)
※いずれも 14:00-14:45
集合場所 当館オープスタジオ
参加費 無料、ただし要覧覧会チケット(高校生以下 入場無料)

※その他のイベント情報については当館ホームページをご覧ください

基本情報

Yokoo in Wonderland — 横尾忠則の不思議の国

2023年9月16日(土)ー12月24日(日)

開館時間 10:00ー18:00 ※入場は17:30まで

休館日 月曜日

※ただし9月18日(月・祝)、10月9日(月・祝)は開館、9月19日(火)、10月10日(火)休館

主催 横尾忠則現代美術館([公財]兵庫県芸術文化協会)

協賛 株式会社 **中川ケミカル**

協力 **ホテルオークラ 神戸**

観覧料 一般 700(550)円、大学生 550(400)円、70歳以上 350(250)円、高校生以下無料

※()内は20名以上の団体割引料金

※障がいのある方は各観覧料金(ただし70歳以上は一般料金)の75%割引、

その介護の方(1名)は無料

※割引を受けられる方は、証明できるものをご持参のうえ、会期中美術館窓口で入場券をお買い求めください。

※兵庫県立美術館の特別展またはコレクション展(会期中のものに限ります)のチケット半券を提示すると団体割引料金でご覧いただけます。また、当館企画展のチケット半券のご提示で、兵庫県立美術館の特別展またはコレクション展を団体割引料金でご覧いただけます。

出品点数 約150点

お問合せ

横尾忠則現代美術館

〒657-0837

兵庫県神戸市灘区原田通3-8-30 [兵庫県立美術館 王子分館]

tel. 078-855-5607(総合案内) fax. 078-806-3888

学芸担当: 平林 恵<hirabayashi_megumi@ytmoca.jp>

広報担当: 早水千尋<hayamizu_chihiro@ytmoca.jp>

※画像データは当館ウェブサイトのプレス専用ページ(<https://ytmoca.jp/press>)からお申し込みいただけます